

## 平成 30 年 5 月期月次景況調査結果

この調査結果は、中小企業庁の指定事業に基づいて設置された山口県内の情報連絡員 60 人に、本会が新たに選んだ 20 人を加えた 80 人の連絡員より業界動向を把握した結果です。

5 月の業種別景況の前月比 DI 値は 14 業種の内、好転が 2 業種、昨年同等が 7 業種、悪化が 5 業種となり、全体の景況感 DI 値も 4 月に比べ悪化した。

一般機械では自動車関連や海外プラント関係が好調との報告があったが、小売業、商店街では来客数、売上ともに減少しており、また、建設業では公共工事が少なく低調であるとの報告があった。

山口県の中小企業は、人手不足が益々深刻化しており、人件費の上昇や受注機会の損失につながっている。

### 山口県の主要指標 DI 値 (平成 30 年 5 月末現在)

※DI 値とは、前年同期に比べ「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。

業界の景況 ( < 好転 > - < 悪化 > = < DI 値 > )

前年同月比は、好転：5.0% 悪化：25.0% DI 値：▲20.0% ポイント

売上高 ( < 増加 > - < 減少 > = < DI 値 > )

前年同月比は、増加：13.8% 減少：31.3% DI 値：▲17.5% ポイント

収益状況 ( < 好転 > - < 悪化 > = < DI 値 > )

前年同月比は、好転：7.5% 悪化：26.3% DI 値：▲18.8% ポイント

### 山口県の業種別 DI 値(業界の景況) (平成 30 年 5 月末現在)

 30 以上	 30 未満～ 10 以上	 10 未満～ ▲10 以上	 ▲10 未満～ ▲30 以上	 ▲30 未満
--	--	---	--	---

食料品	織 維 工 業	木材・ 木製品	印 刷	窯業・ 土石製品	一 般 機 器	輸 送 機 器	全 製 造 業
▲14.3	25.0	▲33.3	▲50.0	▲33.3	11.1	0.0	▲9.1
							

卸売業	小売業	商店街	サービ ス業	建設業	運輸業	その他	全 非 製造業	全 体
20.0	▲44.4	▲75.0	▲9.1	▲40.0	▲14.3	▲100.0	▲27.6	▲20.0
								

特記事項（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）

食料品	テレビで「ういろう」が紹介され、一時的に品薄となる状態が続いた。インターネット販売のランキングも山口県の菓子店が一位となった。現在は通常に戻っている。	パン・菓子製造業 山陽小野田市
	売上は、対前年同月比7%のマイナス。平日の来館者数・売上とも好調に推移するものの、土日の業績が落ちている。またゴールデンウィーク期間の売上は、前年より休日が一日少なかったこともあり、10%程度のマイナスとなった。	水産食料品製造業 萩市
	食材の動きが少ない。配送料や原材料の値上げがじわじわと影響している。人手も確保しにくい。	水産食料品製造業 下関市
	例年に比べ雨の日が多く、麦刈が大幅に遅れている。地球温暖化による天候不順の影響が大きくなってきている。突然の自然災害へ対応できるような仕組みづくりが必要。地球温暖化をこれ以上進めない社会づくりのため、日本においても、鉄道などの公共交通の燃料電池化、水素ステーションの増設や家庭用燃料電池の普及など、具体的な取り組みが必要となる。	精穀・製粉業
繊維工業	連休前の納品が終わり、引き続き追加の引き合いあり。新規の発注もあり、仕事量は安定している。	外衣・シャツ製造業 萩市
	秋物の生産依頼が早くなっている。	外衣・シャツ製造業 山口市
	ハローワークに求人を出してもフルタイムの応募者がなく、パートに切り替えたところ、2名紹介があり、1名を採用した。人材確保が最重要課題である。	外衣・シャツ製造業 山陽小野田市
木材・木製品	生産が伸びてきている。	製材業・木製品製造業 山口市
	人件費の増加により販売価格を上げた組合員あり。	製材業・木製品製造業 下関市
印刷	例年チラシの需要が落ちこむ時期であるが、今年は落ち込みが激しい。定期総会に合わせて営業のセミナーを開催し、大変好評であった。売上が厳しい業界なので、営業系のセミナーの需要は高い。	印刷 下関市
	大きな入札物件が取れたので、受注減少分の補填が出来たが、相変わらず受注は少ない。	印刷 山口市
窯業・土石製品	5月の出荷量は (平成29年5月) 骨材 98%、路盤材92%、再生材108% ↓ (平成30年5月) 骨材125%、路盤材112%、再生材78% 組合単価は上げているが、実際売るときに安く販売し	砕石製造業

	<p>ているので、売上高は変わっていない。出荷数量は上がっているが、一過性のもので公共工事が増えたわけではない。相変わらず人材不足が問題となっている。</p>	
	<p>出荷量は、対前月比85%、対前年同月比96%。現時点では、セメント・骨材等の資材調達は、特に問題は生じていない。生コン価格は安定しているが、値上げの動きがある。</p>	生コンクリート製造業
	<p>先日行われた交流会において、仕事の減少の原因について話し合った。技術力はあるが、個人経営のため大手のようなPR活動は出来ないため、各地で行われるイベントに出展し、「少しでも知ってもらおう事が大切ではないか」との意見が出た。</p>	石工品製造業
	<p>5月1日から5日まで行われた萩焼まつりは、天候にも恵まれ、入場者数は昨年と比較し若干増加した。萩市内の萩焼小売店の売上、ネット販売（商工会議所運営 e萩焼.com）ともに低迷。ギフト・卸関係・百貨店の動きは昨年と変わらず、浅草アンテナショップは売上を落としている。</p>	陶磁器・同関連製品製造業
一般機器	<p>人手不足の話がたびたび出ている。</p>	一般機械器具製造業 周南市
	<p>自動車関連、海外プラント関係（中国）、鋼構造物（鉄骨建屋関係）が順調である中、各社の景況感にバラツキがみられる。その主な要因は、慢性的な人材不足により受注の機会損失を招いているからである。</p>	一般機械器具製造業 防府市
	<p>機械検査、機械加工関係、食肉加工、惣菜、自動車関係等全ての職種で業績は好調で残業も多く、外国人技能実習生受入増員相談が多い。造船については若干の陰りあり。制度改正に伴う3号移行者の入国も順調。拡大枠の利用についても順調で、今後とも増員の傾向にある。介護の受入についても、N3取得者の目途が立ち、来年4月の受入に向け準備していく。</p>	一般機械器具製造業 宇部市
輸送機器	<p>鉄道車両、半導体製造装置、産業プラント部門ともに繁忙な状況が継続中。</p>	鉄道車両・同部品製造業
卸売業	<p>海苔の入札が終わり在庫は少ない。在庫は前年同月より8.4%増加となった。</p>	乾物卸売業
	<p>一時的に魚の入荷が増加したが、また減少している。販売価格がなかなか上がらない。雇用の確保も大変難しい状況。</p>	生鮮・魚介卸売業
	<p>気温の不順等により飲料関係の売上に若干影響が出ている。</p>	各種商品卸売業
小売業	<p>中旬より天気が良く気温も高かったため日焼け止めなどの夏商材がよく売れ、売上が伸びた。下旬に新商品が出るので売上が伸びてくると思われる。下関には韓国や中国の大型船で旅行者が来ているが、売上には影響していない。</p>	化粧品小売業

	5月は、決算後にいろいろな事業が動き始め、新たな雇用や異動も流れに乗り、仕事のリズムが決まってくる時期。大きな変動は見られないが、着実に実績を挙げるための動きが加速しているので、しっかりとタスクをこなしていく事が肝要。	各種商品小売業 岩国市
	ゴールデンウィークのイベントの影響もあり、客数と売上が若干増加。「景気は回復している」と言われているが消費者の財布のヒモは固く、商店街はまだまだ厳しい状況である。	各種商品小売業 山口市
	ゴールデンウィークがあったが客数増加に繋がっていない。平日午前中は地元の買い物客が見受けられるが、午後は人通りが減少している。	各種商品小売業 下関市
	例年通り、連休は日ごろより閑散としていた。	各種商品小売業 周南市
	客数、売上とも前年を下回る厳しい状況。	各種商品小売業 長門市
商店街	来街者数が大幅に減少し、売上も減少。商品購入先の変化が顕著に現れている模様。インターネット通販への対応策が急がれる。なんとか売上単価を上げ売上を確保したい。	山口市
	消費停滞ムードが続いている。客足がますます遠ざかっている様に思われる。	宇部市
	暖かくなり多少人の動きはあるが、店舗の販売の増加には至っておらず、売上につながっていない。月末に飲食店が新規開店するので、人の流れが多くなることに期待。	萩市
サービス業	初旬は客足が伸びなかったが、中旬から3月の客の再来店が始まり、例年通りとなる模様。	美容業
	暖かくなり来店サイクルが戻りつつあるが、後半は減収。	理容業
	整備事業者の廃業が年度末に集中した。原因は、後継者がいないことと、高齢により廃業を余儀なくされたこと。廃業した事業者の声を聞くと、完全に後継者がいない場合と子どもはいるが整備業を継ぎたくない場合の二つに分かれた。また、古い車であれば高齢になっても整備等の対応は出来るが、近年販売される先進技術を搭載した車は高齢者には整備等が難しく、廃業の要因となりつつある。整備事業者の後継者問題や自動車技術の高度化など、整備業界が抱える課題が山積している。	自動車整備業
	人口減少問題を身近に感じる。	スポーツ・健康教授業
	悪天候の影響で大きな仕事がないまま繁忙期が終息に向かっている模様。資材の価格上昇、燃料の高騰で、相変わらず利益確保が難しい状況。通常1年の1/4の売上がこの時期に上がる見込みだが、年間売上の下方修正を余儀なくされている状態。業界の8割の業者が	普通洗濯業

	<p>厳しいと訴えている。</p> <p>宿泊者数は対前年同月比 99.8% とほぼ前年並みであったが、売上は対前年同月比 95.5% と前年より減少した。インバウンド（中国・韓国）で単価が減少したことが要因と考えられる。</p>	<p>旅館業 山口市</p>
	<p>施設利用者（入浴者）の減少が続き、売上高も減少している。設備老朽化による改修工事のため休業した施設があった。</p>	<p>旅館業 長門市</p>
	<p>ゴールデンウィーク期間中は旅行客などで賑わった。中旬、後半などは、総会等の時期で県内外からの人も増えるが、全体的には例年通り。</p>	<p>飲食業</p>
建設業	<p>5月は休みや雨の日が多かったため、実質稼働日数は少なくなった。そのため完了工事が減少し、結果として売上額も減少した。</p>	<p>屋根工事業</p>
	<p>出来高が減少し、4月末までの外注費が大きかったこともあり、収益状況は悪くなった。クロス工事は短期間で完了する仕事が多く、場合によっては毎日違う現場へ配置するため、材料の手配から管理までが大変な状態である。</p>	<p>内装工事業</p>
	<p>中電への工事申請は 113 件（当支部分 98 件）、前年同月 111 件（同 95 件）。太陽光発電への申請 14 件（前年 23 件）、オール電化申請 63 件（前年 49 件）。LED 街路灯への切り替え・新規申請 29 件（前年 27 件）であった。</p>	<p>電気工事業</p>
	<p>工事量の減少に伴い、沖縄本島や周辺の島嶼部への出張予定の事業所が増加している。</p>	<p>左官業</p>
	<p>例年、早ければゴールデンウィーク明けから仕事が入りだすが、今年は遅く、6月から仕事が入りだす模様。燃料の値上げにより影響を受けている。</p>	<p>管工事業</p>
	<p>柳井地区において公共工事の発注が極端に少なく低調で、中小企業の中でも特に規模の小さい企業は大変苦慮している模様。また、解体工事も不調で、スクラップアンドビルドが進んでいない。建設業に活気が感じられない。</p>	<p>土木工事業 柳井市</p>
	<p>毎年 4、5月の年度初めは公共工事の発注が少ない。</p>	<p>土木工事業 周南市</p>
	<p>受注高は、対前年同月比 1680.2%。昨年 5 月は、工事量も少なく少額（100 万未満）のものが数件しかなかった。</p>	<p>土木工事業 萩市</p>
運輸業	<p>輸送関係は連休があったため稼働率が低下。相変わらずの長・中距離ドライバー不足により収益は対前年同月比 1.6% のマイナス。今年の 5 月は特に出荷量減少が目立った。国内向け鉄鋼業材等は横這い、輸出関連はやや低下。油関係は 3.5 円の値上げ。価格変動が激しいため、中小輸送業者にとって安定した経営は難しい。</p>	<p>一般貨物自動車運送業 下松市</p>

	<p>今月も輸送受注は、対前年同月比10%強のプラスとなった。稼働の増加もあったが運賃改定が大きく寄与した。燃料費については急騰しており、対前月比7%強、対前年同月比約22%の上昇だ。</p>	一般貨物自動車運送業 防府市
	<p>燃料の値上げ幅は大きいですが、前年同月より売上、収益ともに好調である。</p>	一般貨物自動車運送業 宇部市
	<p>売上は対前年同月比6.2%減少。海外から大型船の寄港があるが、大半は大型バスでの移動となりタクシーにはあまり影響がない。もっとも需要があったとしても現状では対応しきれない。</p>	一般旅客自動車運送業 下関市
	<p>タクシーチケットの取扱金額は、対前年同月比▲1.3%（平成30年4月1日～平成30年5月20日分）。4月1日～30日分は▲3.2%、5月1日～20日分は+2.5%となり、5月はほぼ前年並みの取扱となった。4月分について当組合の取扱地区別に見ると周南▲0.3%、下松▲0.5%、光+6.8%、防府▲5.8%で、組合員の全域では▲0.7%、地区外（員外）▲28.8%で、合計▲3.2%（▲718千円）。主要燃料であるLPGについては、CP（通告価格）と為替に連動して変動するが、CPが上がり（前月467.5\$/トン、今月487.5\$/トン、前年440.0\$/トン）、輸送用バンカーC重油も（前月366.0\$/トン、今月393.0\$/トン、前年315.0\$/トン）上がった。為替も円安（前月107.07円/\$、今月108.44円/\$）になり、燃料単価は対前月比で+3.0%、対前年同月比で+4.6%となった。タクシー乗務員は慢性的に不足し、稼働率が下がっているため、曜日や天候、時間帯によっては、配車が大幅に遅れるような状況がある。防府市のイベント（大平山つつじ祭り）用に、当組合が窓口となり（共同受注）、シャトルタクシーが運行された。今後の需要に期待。4月下旬の取扱金額は対前年同月比マイナスが続いたが、5月になって少し回復して来た。しかし、依然として不安定な状態である。</p>	一般旅客自動車運送業 周南市
	<p>取引高は対前年同月比ほぼ同じであった。</p>	港湾運送業
その他非製造業	<p>最近では介護事業所のみならず、他職からも外国人技能実習生受入の要望を聞くことが多くなってきた。</p>	介護事業